

Ⅱ. 導入機能の基本的考え方（コンセプト）

Ⅱ-1. 導入にあたっての課題整理

「上位・関連計画を踏まえた展望」及び「時代潮流の変化からみた都市づくりの方向性」を踏まえ、当該地区における機能の導入にあたっての課題を以下のとおり整理しました。

【交流促進による都市活力の維持・増進】

- ・当該地区周辺では住宅地形成が進み、居住人口が増えていることから、地域コミュニティを豊かにするため、居住者同士の交流の場や機会づくりが必要です。
- ・人口減少と高齢化のさらなる進行のなかで、都市の活力をどう維持していくかが大きな課題となっています。また、こうした状況のなかで、既存産業の振興のみでなく、人、モノ、情報・知識の交流に活路を見出すなど、新たな視点からの地域活力創生が必要です。
- ・リニア中央新幹線の東京-名古屋開業インパクトを的確に受け止め、名古屋市を中心に周辺都市が広域連携する都市圏形成に資する新たなビジネスの受け皿づくりが必要です。

【長寿社会における心身の健康の促進】

- ・超高齢社会のなか、余暇時間を豊富にもつ高齢者世代がいかに心身の健康を維持し、実り多き暮らしを続けていくために、福祉、医療機能の充実とともに、スポーツ、芸術などに気軽に触れ・親しんだり、ボランティア活動など社会参加の機会充実が必要です。

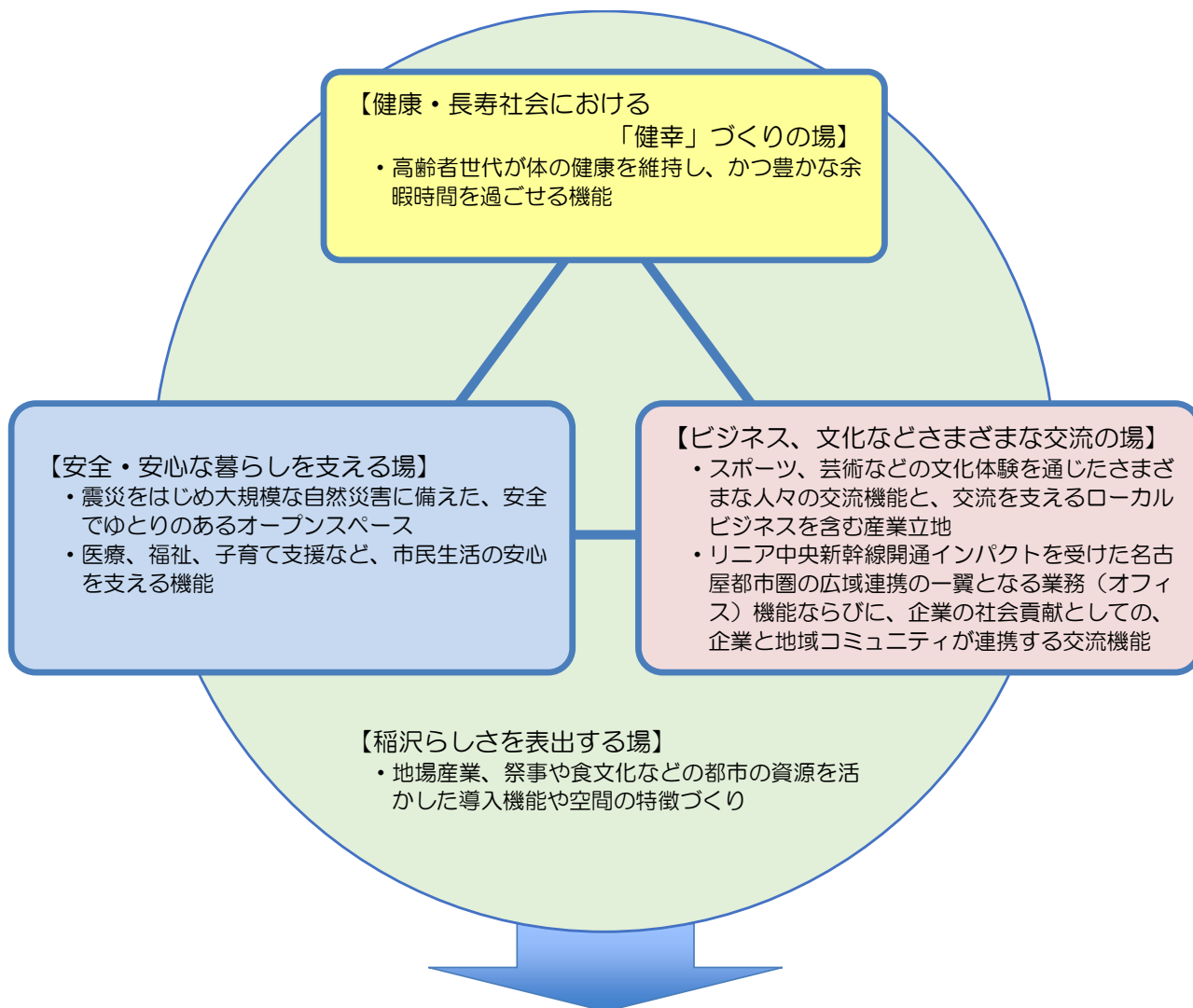
【市民の安全・安心を支える都市の空間と機能の形成】

- ・大規模な自然災害のリスク緩和のために国土の強靱化に資する安全な都市空間形成が求められるとともに、医療、福祉、子育て支援など日常生活のなかにおけるさまざまな安全・安心を支える機能充実が必要です。

Ⅱ-2. 導入機能の基本的考え方（コンセプト）

当該地区においては、独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）の施行による土地区画整理事業で基盤整備が行われました。この事業にあたっては、当該地区の立地特性である、名古屋との近接性、公共交通の利便性や市内各地域とのアクセス利便性を活かした、「**地域交流・市民交流の拠点**」として、公共・公益性の高い都市機能の育成を念頭に置いてきました。

このことから、当該地区における導入機能の基本的な考え方としては、「地域交流・市民交流」の促進に資する公共・公益業務機能の導入を前提条件として踏まえつつ、1. において整理した課題に対応していくこととし、以下のとおりとします。



当該地区では、「ビジネス、文化などさまざまな交流の場」の形成に加え、「“健幸”づくり」や「安全・安心の確保」といった時代潮流に即した機能の導入を図ることで、世代や性別、地域を越えて広く人が集まることで、多様な交流を創出することを目指していくこととします。

**さまざまな機能集積により、世代や性別、地域を越えて、
広く人々が集まり、交流する「地域交流・市民交流の拠点」の形成**